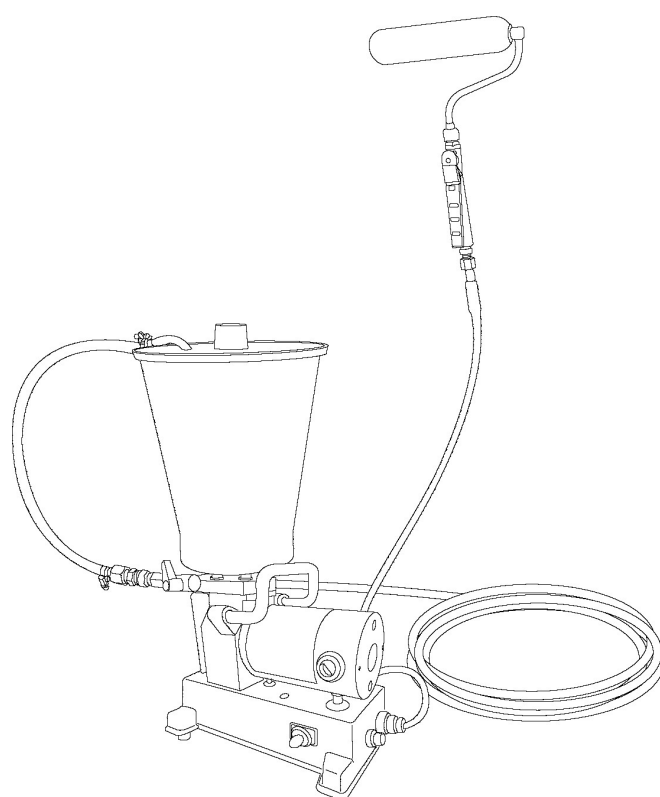


セイワダイヤフラムエアレス

アルバイト君 MH-300

取扱説明書



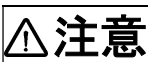
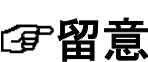
ご使用前にこの「取扱説明書」をよく読み正しく
お使いください。誤った取り扱いは機械の故障や
大変な事故につながります。

機械を操作する前にいつでも見られるように大切に
保管してください。

この度は **SEIWA**「アルバイト君」をご選定いただきまして
厚くお礼申し上げます。

- 当機のご使用に際しては、この取扱い説明書を熟読していただき、正しく安全に使用してください。誤った取扱いは、機械の故障や大変な事故につながります。
- 品質、性能向上または安全上、部品の変更を行なう事がありますが、その際は本書の内容と一部異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください
- 不明な点やお気付きのことがございましたら、お買上げ店、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

△印付きの下記のマークは安全上、特に重要な項目ですので必ずお守りください。

 危険	適切な事前注意をとらないと 死亡又は重傷を負う危険性 が大きいことを示します。
 警告	適切な事前注意をとらないと 死亡又は重傷を負う可能性 があることを示します。
 注意	適切な事前注意をとらないと 傷害又は製品の重大な損傷を招く可能性 があることを示します。
 留意	製品の使用上の留意点や参考となる事柄を示します。

目 次

1, 安全のために	1
2, 使用上の注意	2
3, 仕様諸元表	3
4, 各部名称、機能及び、基本操作	4
5, 作業操作手順	5
5-1 準備	5
5-2 作業開始	5
5-3 中断・停止	5
5-4 洗浄・終了・手入れ	6
5-5 消耗品の交換	6
6, トラブル対策	7
6-1 モーター	7
6-2 ポンプ側	7
7, 万能アルバイト君・Sセット接続方法	8. 9. 10

1 安全のために

危険

- 引火性のある塗料(液体)を用いた塗装作業は火災や爆発の危険があります。引火源となるタバコ、ライター、火、溶接、グラインダーの火花等避け、換気の良い場所で使用してください。
- 本機は非防爆構造です。引火性爆発性ガス、腐蝕性ガスのある場所では使用しないでください。火災や爆発事故につながり危険です。

警告

- 非常に高い圧力で噴出する塗料(液体)は身体を傷つける危険があります。塗料ホースからの漏れ出しがあった場合は直ちに作業を中止してください。
- 漏れ出ししている部分を手足や身体で止めることは絶対にしないでください。
- 異常を取り除く場合は必ず機械を停止させ、全ての圧力を抜いた後行なってください。
- 塗料ホースを強く引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。
- 外観にキズ・折れ曲がり・潰れていたりする塗料ホースは破裂して塗料が吹き出す恐れがあるので使用しないでください。
- 接続部は漏れがないようにしっかり締め付けてください。漏れが発生した時は、直ちに機械を停止させ、リターンコックを開き、塗料圧力を下げてください。
- 本機は必ず接地(アース)してください。
- アース線はガス管へは接続しないでください。ガスによる火災、爆発事故につながります。
- 塗料ホースは専用ホース以外使用しないでください。接続不良、耐圧不足に漏れ、破裂の原因になります。
- 本体のカバーを外して運転したり、回転している部分に棒を突っ込んだりしないでください。服や手が巻き込まれ、危険です。

注意

- 雨、濡れた場所、蒸気など湿度の多い場所での保管、使用はしないでください。感電事故、サビつきにつながります。
- 直射日光の当たる場所での使用はしないでください。モーター焼損の原因になります。
- 関係者以外やお子様は近づけないでください。誤った操作やいたずらにより思わぬ事故を招きます。
- 本機に直接塗料を吹き付けたり、ゴミ・ホコリの多い場所では使用しないでください。加熱事故の原因になります。
- ホース金具の締め付け漏れない程度にしっかり締め付けてください。強く締め付けすぎると金具部が損傷する恐れがあります。
- ホース破損等万一に備え、周囲には養生を設置し、建物、車等、大切な物を汚さないように注意してください。

医療処置

- たとえどのような塗料(液体)であっても皮膚を傷つけた場合は、軽傷として扱わず直ちに医師による適切な治療を受けて下さい。又、どのような液体によるものなのかを的確に教えてください。

2 使用上の注意

本機は、低粘度塗料の小型圧送機として開発されたものです。

末永くご使用いただくために下記制約事項を確認の上、順守くださるようお願い申し上げます。

●高粘度塗料、骨材入り塗料は使用できません。（塗料粘度は 20Pa・s 程度まで）

●使用流体は、常温（40℃以下）でご使用ください。

●ダイヤフラムの耐久は、200 時間程度です。（使用状況により異なります。）

定期的な交換が必要となります。（交換方法 P6.5-5 消耗品の交換参照）

●ひんぱんにモーターが起動、停止を繰り返す場合はモーター焼けの原因となりますので
早めの改善を行ってください。

（弁の摩耗、異物混入、ノズルの使用等、P7.6-1 トラブル対策 モーター参照）

●圧カスイッチ部に加圧衝撃が加わると圧カスイッチが破損する恐れがあります。衝撃を吸収できるよう下記の点にご注意ください。

- ① ホースはペイントホース 10m 以上でご使用ください。
- ② 流量調節弁はガン側に接続してください。
- ③ モーターが頻繁に ON-OFF が繰り返されないようスピードコントローラーで調節してください。

●何らかの原因で異常電流が流れると、ヒューズが断線し、モーターが停止します。

ヒューズの交換はスイッチを必ず「OFF」にしてコンセントからプラグを抜き、異常原因を改善した上でヒューズの交換を行ってください。

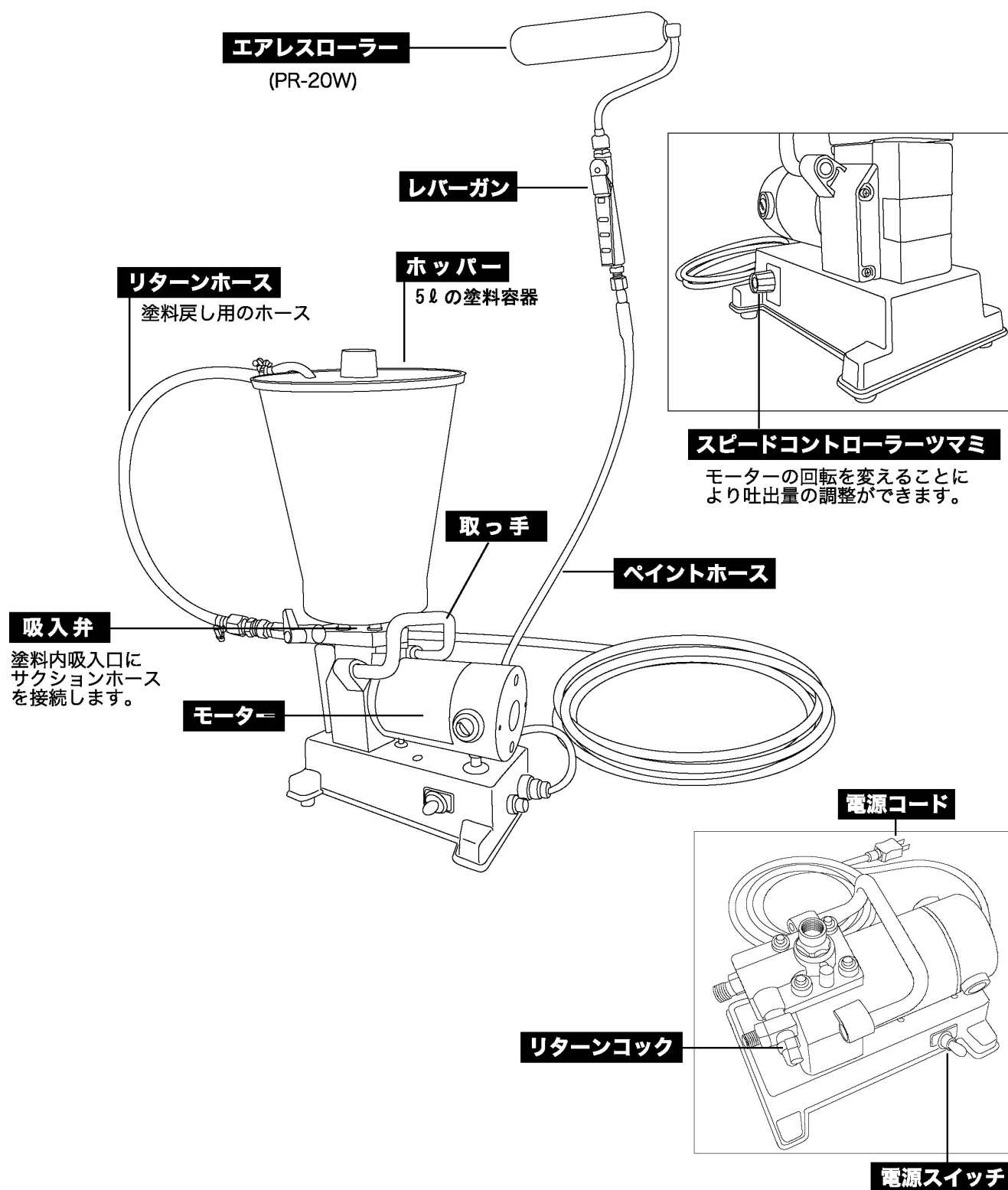
●ヒューズの交換方法

- ①ヒューズホルダーのキャップを外します。
- ②キャップと一緒にヒューズ管が出てきます。
- ③ヒューズを交換してください。（ヒューズはガラス管ヒューズ 5 A のものをお使いください。）
- ④ヒューズを取り付け、キャップを取り付けて交換は完了です。

3 仕様諸元表

型 式		MH-300
電 源 (V)		AC 100 (50/60Hz)
定格出力 (W) / 定格電流 (A)		100 / 1.6
圧力制御方式		圧カスイッチ
最大圧力 (Mpa)		1.7 (17kgf/cm ²)
調整最小/調整最大 (L/min)		0.7 / 1.6
寸法 L×W×H (mm)		243×145×215
重量 (kg)		5.9 (※本機のみ【ホッパー無し】重量)
機能		スピードコントローラー付
セ ッ ト 内 容	本体セット	本機・ホッパー5L 工具・アースリード
	MH-300 特別セット	本体セット(ホッパー付)、CB-300E 本体、SGL-3 下カップ(1.0L)、横カップ(0.4L)、 圧送ローラー本体(PR-20W)、レバーガン ペイントホース(6.5)10m、エアーホース 10/1.5m(肩掛用)、 流量調節弁、埋栓(継手プラグ)、

4 各部名称・機能及び、基本操作



5 作業操作手順

5-1 準備

- ①ペイントホース、ローラーハンドルセット、ローラー本体をそれぞれ確実に締めてください。

🔔 留意

ホッパーは、まだ取り付けないでください。

- ②スイッチが「OFF」であることを確認後、アースを施してください。

その後、電源プラグを AC100V 電源に差し込みます。

- ③リターンコックが開いていることを確認した後、スイッチを「ON」にし、吸込口に手のひらを当て吸い込みがあるかどうかを確認します。

🔔 留意

◆吸込力がない場合は？◆

吸入弁内に溶剤(使用塗料の希釈液)を入れ、呼び水を行ってください。
吸入弁棒を押して固着を解除させてください。

5-2 作業開始

- ①吸入弁作動確認後、ホッパー、リターンホースを取り付け、ホッパーの中に塗料を入れます。
塗料の吸い込みが始まります。

🔔 留意

- 圧送可能塗料粘度は $20\text{Pa} \cdot \text{s}$ 程度までです。骨材入り塗料は圧送できません。

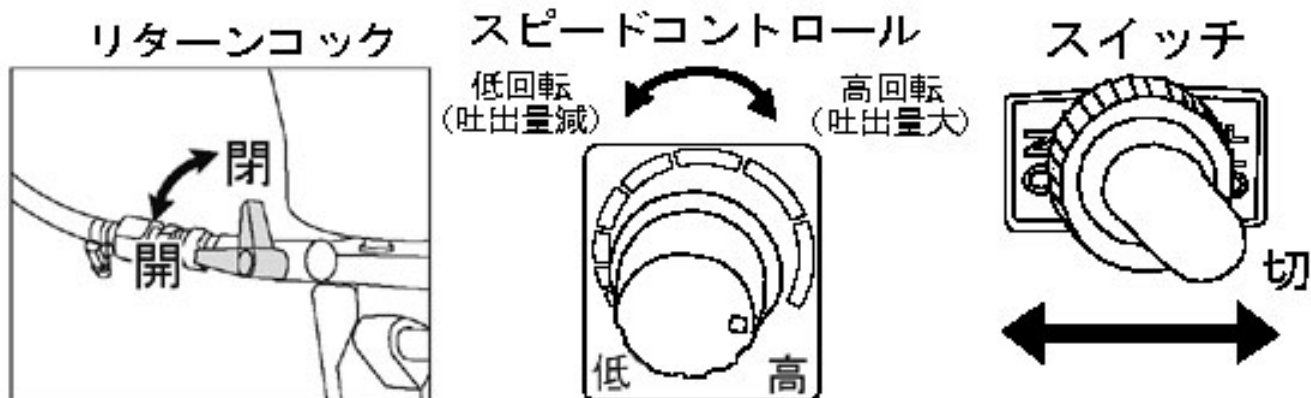
- ②リターンホースから塗料が出てきたら、塗料に空気が含まれていないことを確認した後、リターンコックを閉じてください。塗料ホースに圧力がかかり作業を開始できます。

🔔 留意

- 作業中、空気の吸い込み等により、吸い込み不良を起こしたときはリターンコックを開いて十分にエア抜きを行ってください。
●作業中は換気を十分に行い、風通しの良い場所で行ってください。

5-3 中断・停止

- ①モーターのスイッチを「OFF」にします。
②リターンコックを開いて、圧力を逃がしてください。



5 作業操作手順

5-4 洗浄・終了・手入れ

- ① ローラーハンドルのコックを閉じ、リターンホースを塗料缶に入れてリターンコックを開け塗料を排出します。
- ② リターンホースから塗料が出なくなった後、ホッパーに 1L 程度の洗浄液を入れ、ラスター刷毛等でホッパーの内面に付着した塗料を洗っていきます。

注意

● 洗浄液とは塗料に適したシンナー・水等のことです。

- ・ 水性塗料→水
- ・ 油性塗料→シンナー

- ③ リターンホースから洗浄液が出てきたらローラーハンドルのコックを開け、リターンコックを閉め塗料をローラー側から出します。
- ④ ローラー側から洗浄液が出てきたらその状態でしばらく洗浄液を循環させ、塗料通路内の洗浄を行ったあと、ローラー側から塗料ホース内の洗浄液を抜きます。
- ⑤ リターンコックを開き、リターンホース内の洗浄液を抜き終了します。

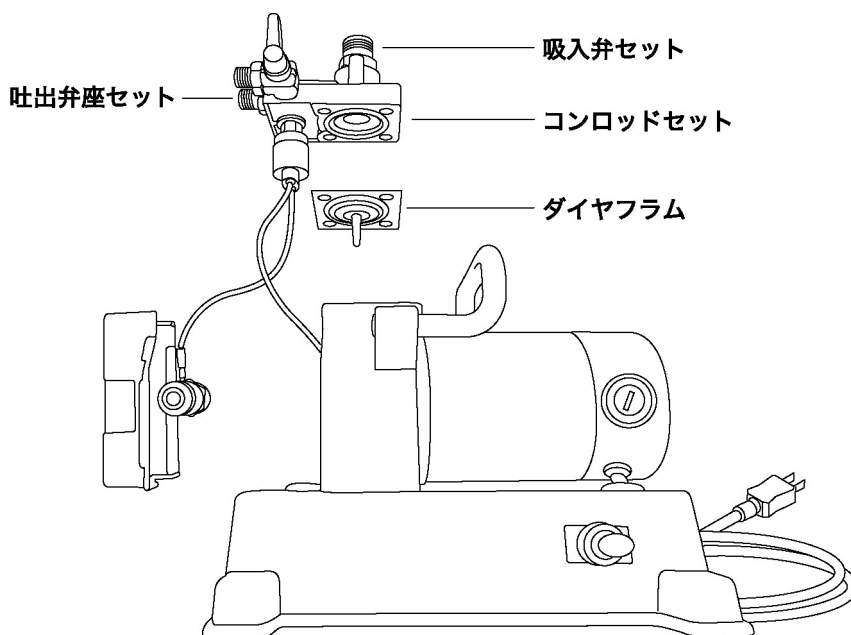
注意

- 長時間使用しない場合は、洗浄液を完全に抜き取り固着防止のためサビ止め油を吸入弁に充てんしておいてください。
- 廃塗料、使用済み洗浄液は絶対に川・下水等に流さないでください。廃棄物処理業者に引き取りを依頼してください。

5-5 消耗品の交換

※吸入弁・吐出弁・ダイヤフラムは消耗品です。

使用状況によっても異なりますが、ダイヤフラムは
200時間を目安に交換することをおすすめします。



6 トラブル対策

6-1 モーター

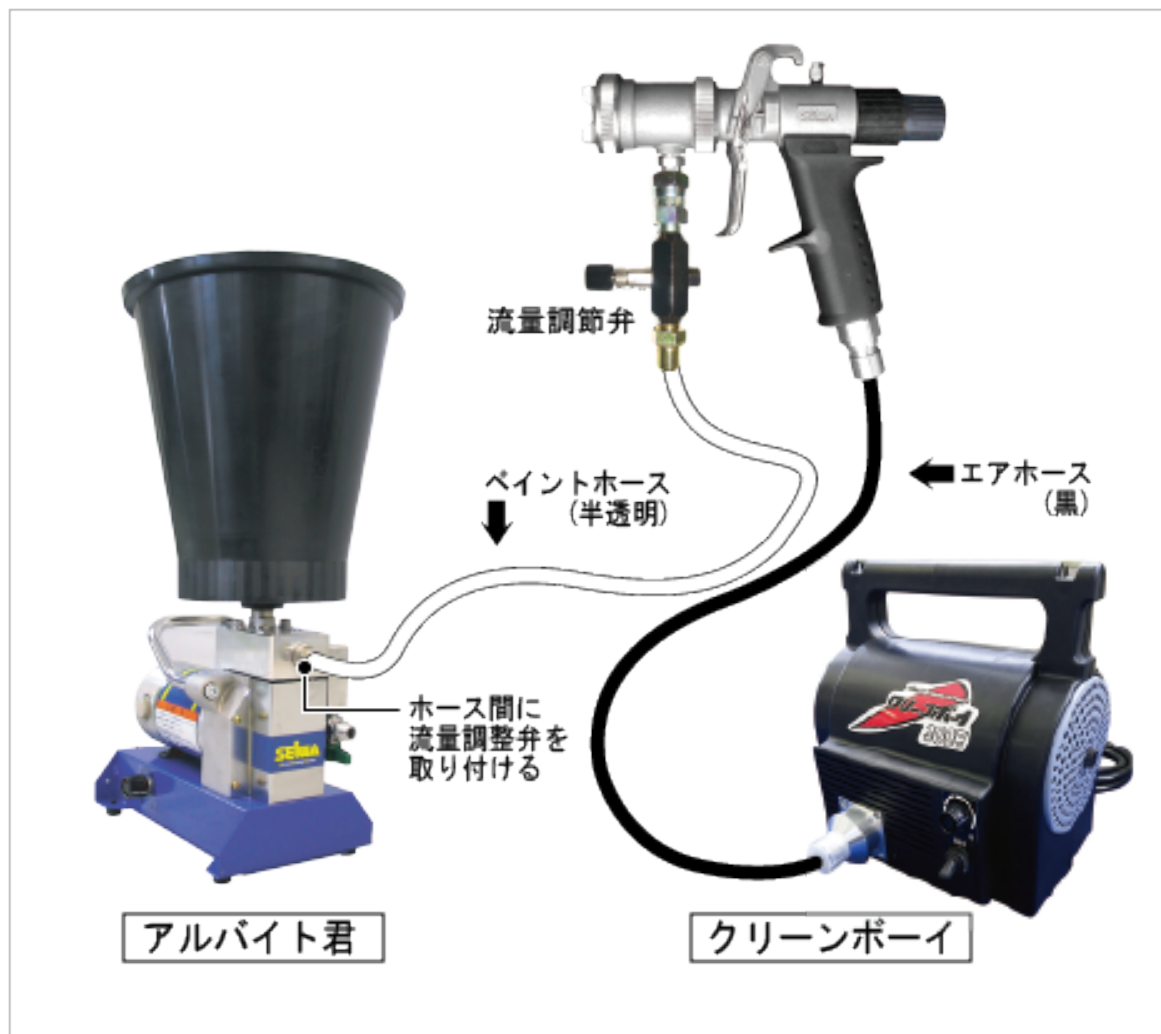
現 象		原 因	対 策
回転しない	音がしない	●ヒューズ断線 ●圧カスイッチの接点不良	●ヒューズの交換 ●圧カスイッチ交換
	うなり音がする	●塗料の圧力が残っている	●リターンコックを開き圧力を抜く
回転はするが	異常音がする		●回転部分の損傷・摩耗・摩擦
	負荷をかけると	回転数が異常に下がる・止まる 電流が異常に高い	●低電圧・電圧降下が大きい
		頻繁に断線運転する	●吐出が絞られている
	ガンコックを止めても	モーターが作動したままになる 又は頻繁に断線運転する	●ガン・ホースからの漏れ ●弁の摩耗
			●電源電圧を AC100V にする ●太いコードを使用する ●延長コードの使用をやめる
			●モーター回転を下げる ●粘度を下げる ペイントホースを太くする ●ノズル等使用の場合は口径を上げる
			●漏れている部分を修理する ●弁の交換

6-2 ポンプ側

現 象	原 因	対 策
吸入力がない	●エア抜き操作を行っていない ●吸入弁・吐出弁の固着 ●吸入弁・吐出弁のダイヤフラム摩耗	●エア抜き操作を行なう ●呼び水を行い、吸入弁を棒でつついて固着を解除する ●部品交換
吸入力はあるが吸い込まない	●ホッパーフィルターの目詰まり ●ホッパーのゆるみによるエア吸い込み ●エア抜きが不十分 ●塗料粘度が高すぎる	●掃除 ●増し締め ●エア抜き操作を行なう ●粘度を下げる

7 万能アルバイト君 MH-300・S セット接続方法

◆ 万能アルバイト君 MH-300 仕様 セッティング手順



1. ガンとホース、流量調整弁の接続

引き金手前にあるジョイント部に付属の流量調整弁を取り付けます。(このとき調整ノブが操作しやすい方向にあわせて取り付けてください)

流量調整弁のジョイントにペイントホース（半透明）を工具でしっかりと締め付けます。

2. 本体とホースの接続

本体にペイントホースを工具でしっかりと取り付けます。

3. CBエアホースの接続

SGL-3の手元オスカプラ部分にCBのエアホースを取り付けます。

ワンタッチとなっており、取扱いが容易です。

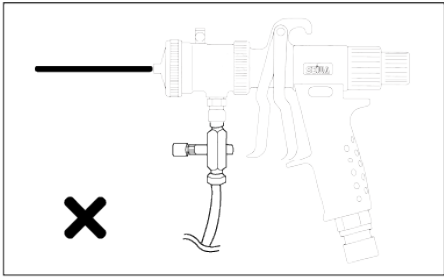
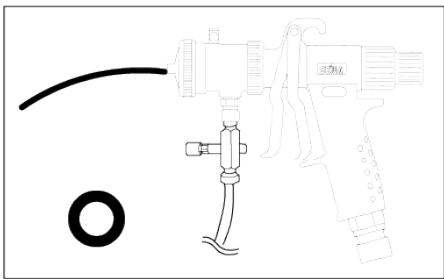
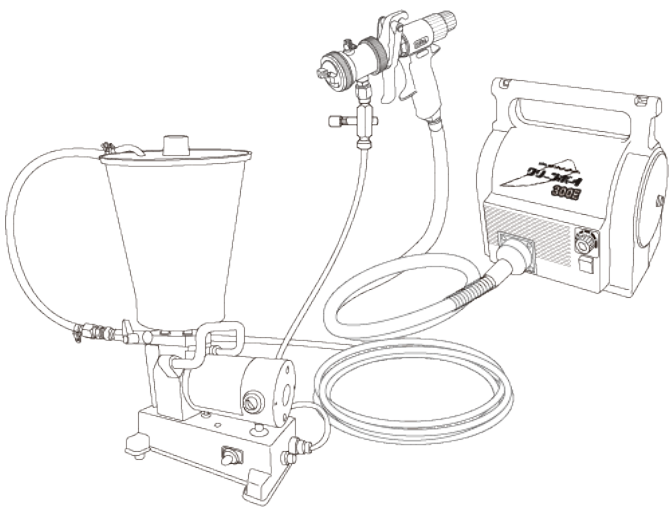
アルバイト君CB接続仕様の取り付けと塗料調整手順

- ①アルバイト君本体、ホッパー、ペイントホース、流量調節弁、ガンSGL-3、を
工具を使って締め付けます。
 - ②CB300とエアホース、ガンをセットします。
※CBのスイッチはまだOFFのままです。
 - ③塗料が水性の場合はホッパー内に水を、溶剤の場合はシンナーをホッパー内に入れます。
※ホッパー内に半分以上で十分です。
 - ④ホッパー内の水（または、シンナー）が無くなったところで、材料を入れます。
 - ⑤ガン先に材料が出てくるまで引き金を引いて待ちます。
※材料が出てくるまでは、空の缶に向けて出してください。
 - ⑥ガン先から塗料が出たら量を調整します。
 - ⑦アルバイト君のリターンコックを半分くらい開けて、ホッパー内に材料が出ている状態でガンから材料をホッパー内に出します。
 - ⑧材料が弧を描いてホッパー内に出るように流量調節弁で調整します。
 - ⑨CBの電源を入れてダンボール等に試し吹きをします。
- ※1 塗料の出る量が多く、仕上がりが悪い場合は流量調節弁を絞り、モーターの回転数を下げます。それでも変わらない場合は、リターンコックを少しずつ開けます。
- ※2 塗料の出る量が少なく、作業性が遅い場合は流量調節弁を開け、モーターの回転数を上げます。それでも変わらない場合は、リターンコックを少しずつ閉めます。
- ※3 調整は使う材料、塗る物、仕上がりにより異なります。どれくらいが最適かを確認しながら調整ください。

◆塗料調整方法

ガンへ塗料を送る量と圧力の調整は下記の様にしてセットをしてください。

- ① ガンと流量調節弁、ホース、本体を接続していただいた状態で、ホッパーに水もしくはシンナーを適量入れてください。スイッチを入れホース内に水（シンナー）を通し、ホッパー内から無くなりましたら、材料を入れます。
- ② リターンコックは通常閉じて使用しますが、クリーンボーイと繋げて使用する場合は、リターンコックを半分程度開けていただき、ホッパー内に材料をある程度戻るようにします。
- ③ ホッパー内もしくは、容器に向けてガンを引いた時に材料が弧を描いて落ちる程度に調整します。



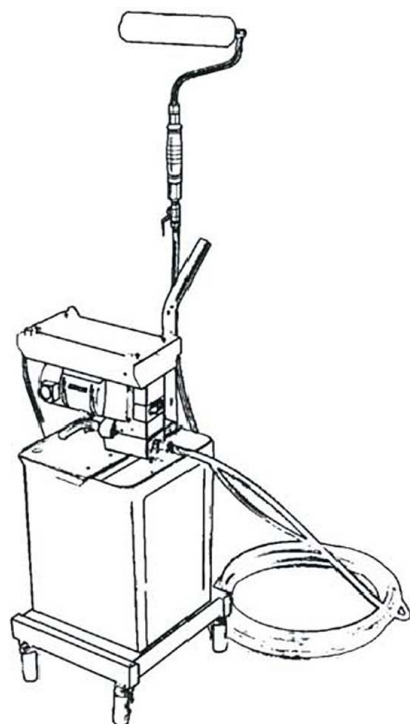
- ④ 本体のスピードコントロール、流量調整は材料の粘度や仕上がりにより調整をしてください。

作業性と仕上がり			
	仕上がり重視		作業性重視
スピードコントロール	モーター回転数	遅い	早い
流量調整	塗料の量	少ない	多い

- ⑤最後に温風塗装機のクリーンボーイのエアホースをガンに取り付けて仕上がりを確認して作業を開始してください。

オプション

移動用台車 アルバイト君専用



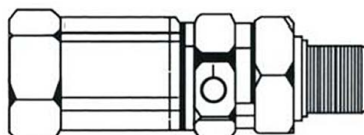
1. 一斗缶台車セット

プレートにポンプロローラーを逆さに取り付け直吸い用サクションパイプを取り付けることにより、一斗缶から直吸い可能となります。

さらに台車にはキャスター付きで移動が楽になります。

2. ガンスイベルセット

ガンとペイントホースの間に取り付けることによって、ホースのよじれを解消し、取り回しが楽になります。



セイワ低圧高塗着塗装機

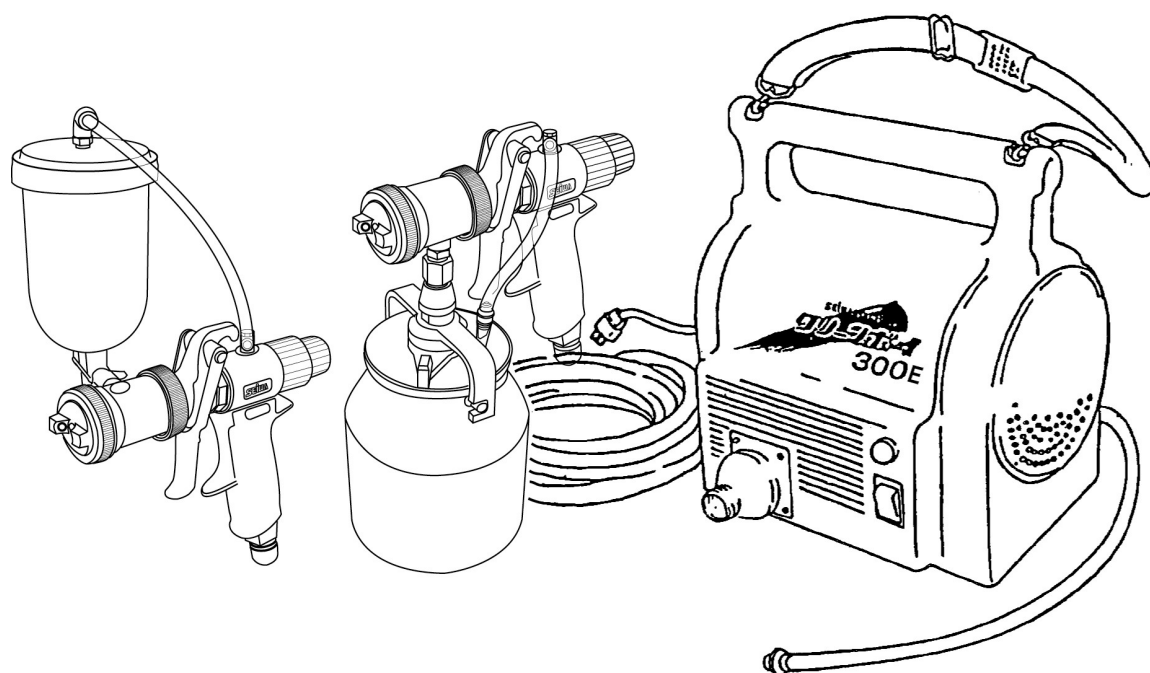
クローンボー1

型 式 CB-150E/300E/400E

取扱説明書

ご使用前にこの「取扱説明書」をよく読み正しく
お使いください。誤った取扱いは機械の故障や大変
な事故につながります。

機械を操作する前にいつでも見られるように大切に保
管してください。



目次

安全のために	1
1 使用上の注意事項	2
2 仕様諸元表	4
3 各部名称、機能及び基本操作	5
4 作業操作手順	7
4-1 塗料の準備	7
4-2 接続・運転	7
4-3 塗料噴出量の調整	7
4-4 パターン方向の変更	8
4-5 吹き付け距離について	8
4-6 霧化性について	8
4-7 洗浄・保守	9
5 トラブル対策	10－11

この度は、 **SEIWA** 「クリーンボーイ」 シリーズをご選定
いただきまして厚くお礼申し上げます。

- 当機のご使用に際しては、この取扱説明書を熟読していただき、安全にご使用ください。
- 品質、性能向上又は安全上、部品の変更を行うことがあります、その際は本書の内容と一部異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 不明な点やお気付きの事がございましたら、お買い上げ店、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。
- 文中の記号について

	適切な事前注意をとらないと 死亡又は重傷を負う危険性が高い事を示します。
	適切な事前注意をとらないと 死亡又は重傷を負う可能性があることを示します
	適切な事前注意をとらないと 傷害又は製品の重大な損傷を招く可能性があることを示します
	製品の使用上の留意点や参考となる事柄を示します。

安全のために



引火・爆発の危険

塗料の種類によって引火しやすいものがあります。

- 室内の塗装作業では必ず十分な換気を行ってください。
- タバコ、ライターの火、電源スイッチの火花、溶接やグラインダー作業の火花などは引火源になりますので、絶対に近づけないで下さい。



塗料の種類によって皮膚への付着、揮発したガスを吸い込むと有害なものがあります。

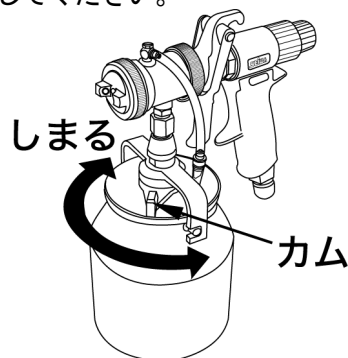
- 室内の塗装作業では必ず十分な換気を行ってください。
- 塗料が皮膚に付着したり、目に入ったりしない服装・保護具(塗装用メガネなど)を着用して下さい。
- 使用する塗料の注意書きを読み、全ての注意事項を守ってください。

1 使用上の注意事項



取扱いの注意

●SGL-3の下カップ仕様は逆止弁がついているため機械を止めてもカップ内に圧力が残っていますので引金を引くとノズルから塗料が噴出します。周囲にかけられないよう注意してください。残圧は塗料カップのカム(レバー)をゆるめて除去してください。



●作業後はスプレーガンをよく洗浄してください。作動不良の原因となります。(P9・4-8 洗浄・保守参照)



●雨、濡れた場所、蒸気などの湿度の多い場所での保管使用はしないで下さい。感電事故につながります。



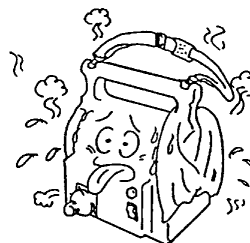
禁止



●フィルターカバーをふさいで使用しないで下さい。スプレー状態が悪くなったり、モーター過熱による故障の原因になります。作業後は本機のフィルターを点検し、汚れていたら洗浄又は、交換してください。(P9・4-8 洗浄・保守参照)



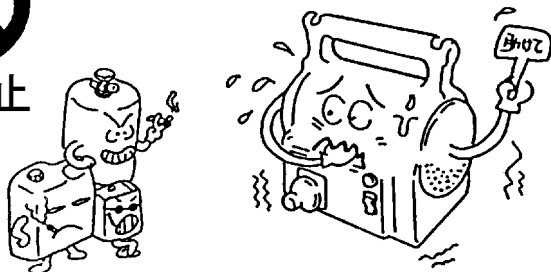
禁止



●本機は非防爆構造です。引火性、爆発性ガス、腐食性ガスのある場所では使用しないで下さい。



禁止



●使用する液体(塗料)はそのメーカーの説明書を必ず読み、全ての警告を守ってください。



設置場所の注意

●周囲の建物、車等大切な物に飛散した塗料が付着しないよう塗装現場の養生(養生マット張り、保護カバーシートかけ等)は必ず行ってください。

1 使用上の注意事項

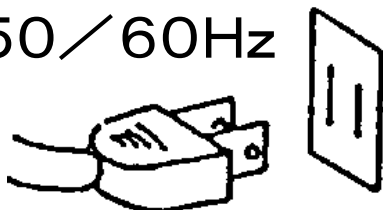


使用電源・コードの注意

●電源は単相100V 50/60Hz以外のものは使用できません。

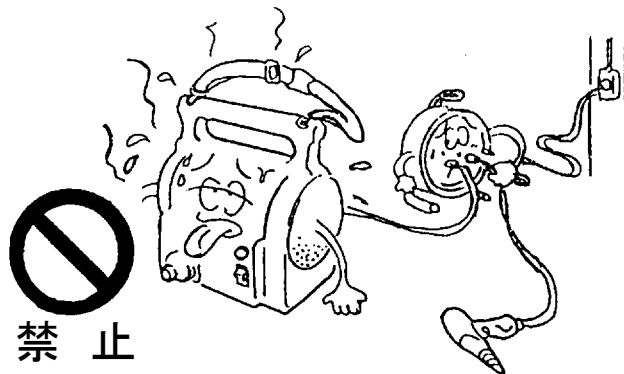
●供給電源ヒューズは15A以上のものを使用してください。

50/60Hz



単相100±10V

●延長コードを使用する場合は他の機械との併用は避け、太さ2mm²以上、長さ30m以内のコードを全て引き出して使用してください。



感電・故障の注意

●コンセントに電源プラグを差し込んだまま機械の洗浄分解、修理をしないで下さい。



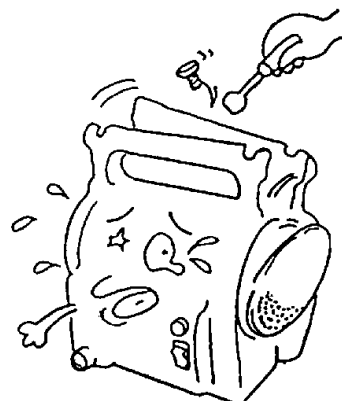
禁止



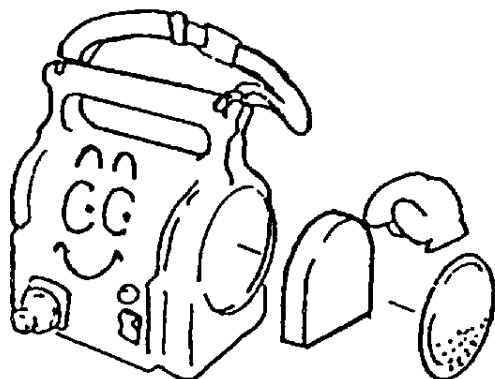
●改造や変更をしないで下さい。故障や事故の原因になります。



禁止



●作業後は機械のフィルターを点検し、汚れていたら交換をしてください。(P9・4-8 洗浄を参照)



2 仕様諸元表

1-1 本体

型 式	CB-150E	CB-300E	CB-400E
電 源	AC - 100V (50/60Hz)		
消費電力 W	950	975	1100
最大排気圧力 Mpa (kgf/cm ²)	0.028 (0.28)	0.039 (0.39)	0.053 (0.53)
風 量※ L/min	1500~2700	1500~3000	800~1500
風量調節装置	有		
重 量 kg	4.8		7.8
寸法 (H×W×L)	263×198×290		350×190×198

1-2 付属品

セット内容	CB - 150E・300E・400E
150E・300E 標準 (光触媒仕様 5・10m)	エアホースセットφ19×5m (光10m仕様)
	スプレーガンSGL-3(10) (光05)・下カップ・横カップ
	樹脂製粘度カップ
	肩掛けベルト
	取扱説明書
400E 標準	エアホースセットφ19×10m
	スプレーガンSGL-3(10)・下カップ・横カップ
	塗料ノズル1.5
	樹脂製粘度カップ
	取扱説明書

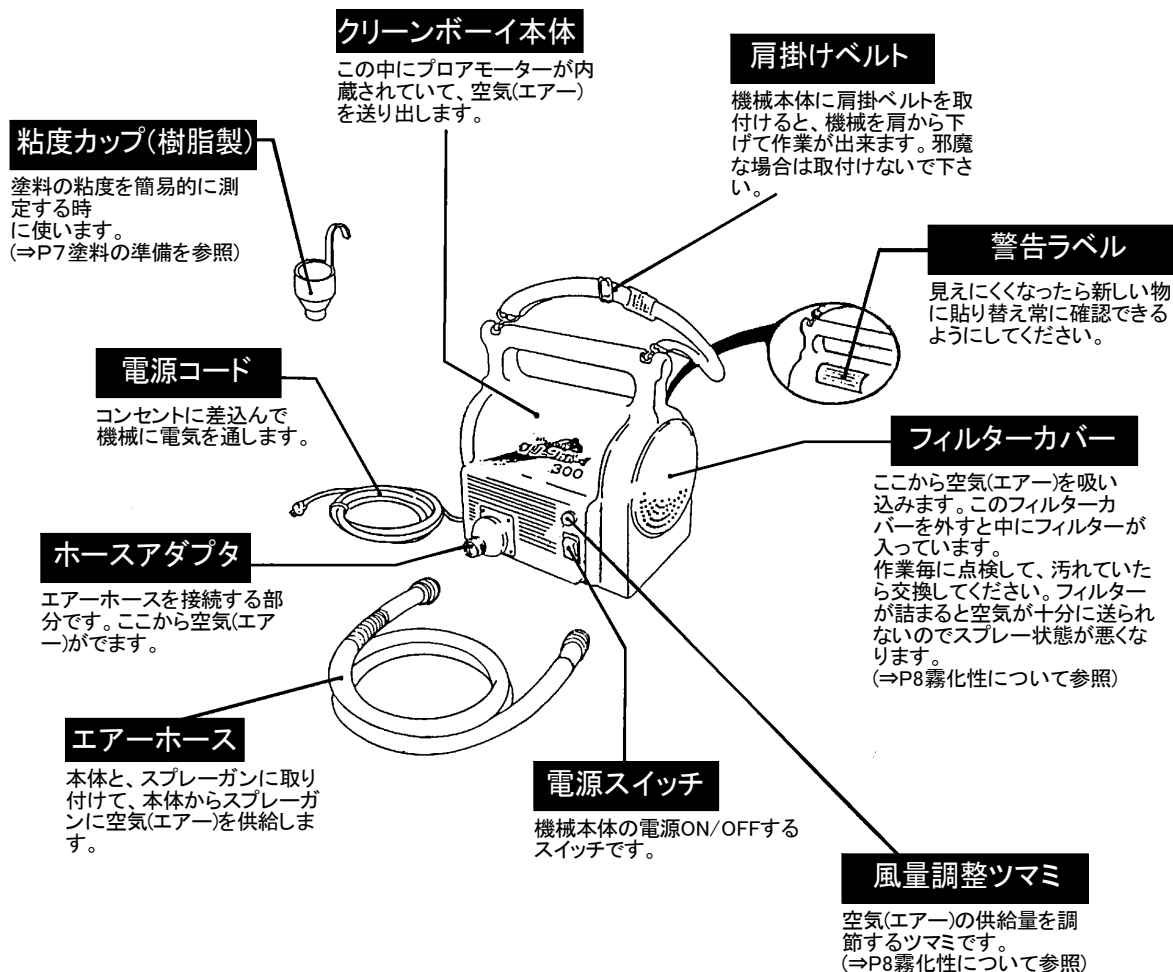
2 スプレーガン SGL-3

型 式	塗料ノズル 口径 mm	ニードル弁セット No.	エアキャップ	ガン重量 g	塗料カップ
※SGL-3(03)	※0.3	03-05 (光)	共通	430	加圧下カップ
SGL-3(05)	0.5	03-05 (光)			10PSL (1000ml)
※SGL-3(08)	※0.8	08-25			※7PSL (750ml)
SGL-3(10)	1.0	08-25			横カップ
※SGL-3(15)	※1.5	08-25			(600ml)
※SGL-3(20)	※2.0	08-25			※上カップ
※SGL-3(25)	※2.5	08-25			(600ml)

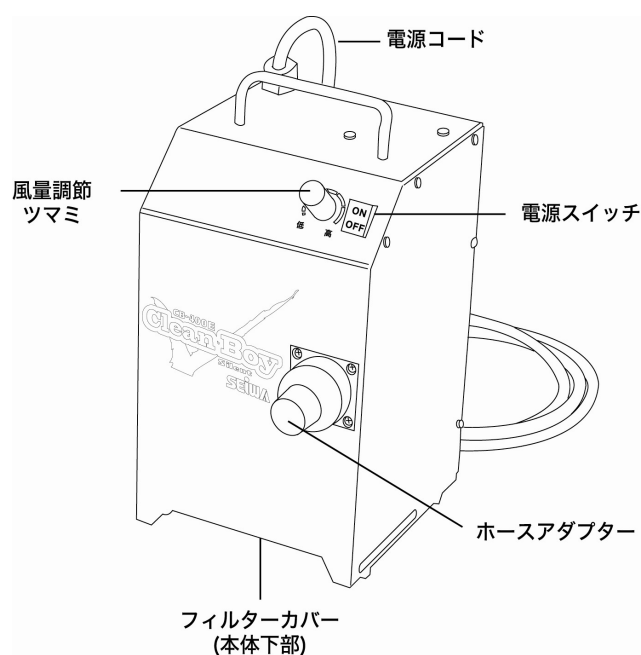
● ※はオプション(別売り)です。

3 各部名称・機能及び基本操作

本 体 CB-150/300E

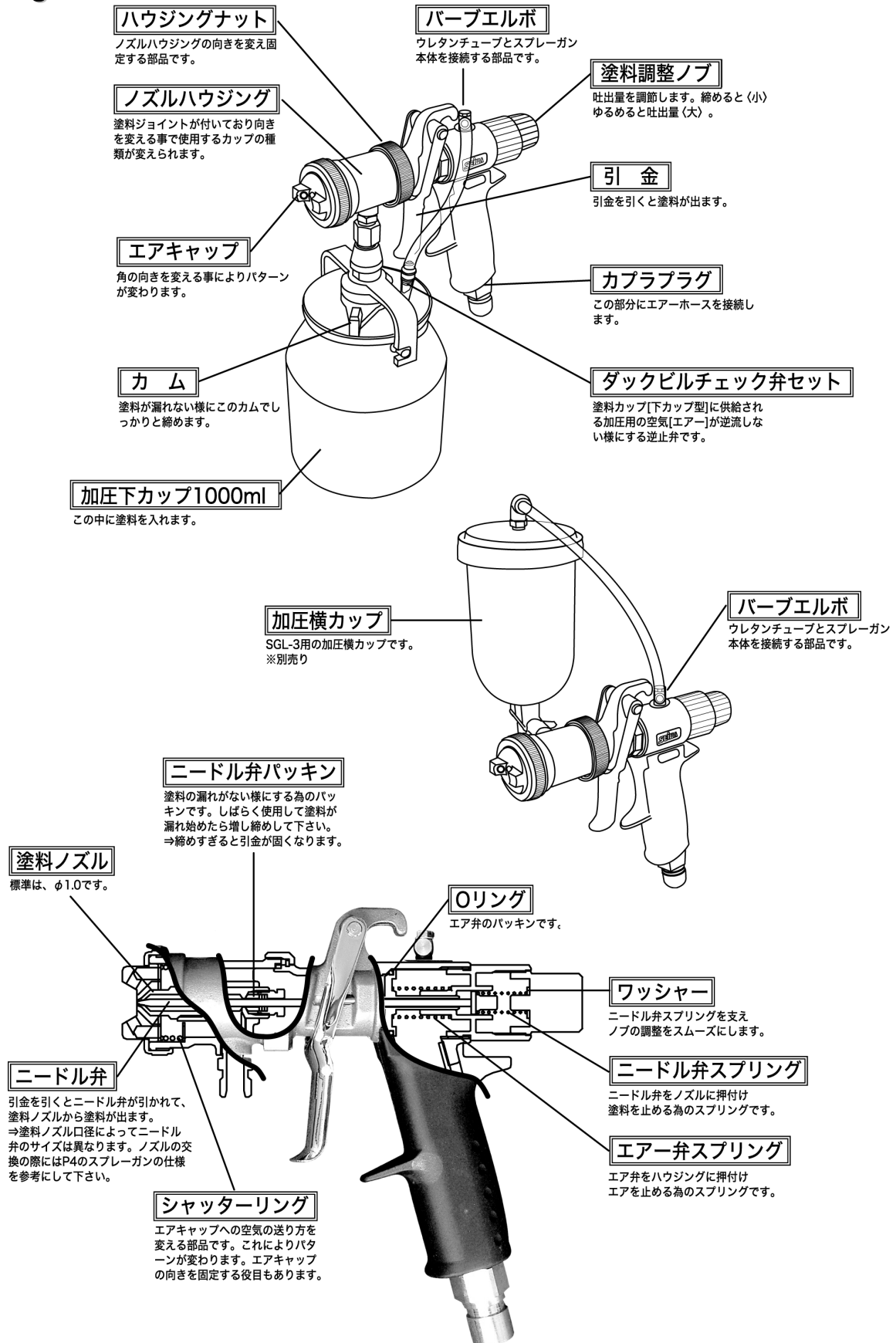


本 体 CB-400E



3 各部名称・機能及び基本操作

SGL-3



4 作業操作手順

4-1

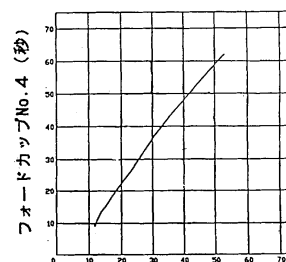
塗料の準備

- ① 塗料の注意書きに従って、塗料・シンナーを準備します。
- ② 指定のシンナーで塗料を希釈し、適正な粘度に調整してください。付属の樹脂製粘度カップのご使用をお薦めします。

⚠注意

- 塗料の種類によって適正な粘度が異なります。
- 周囲の建物、車等大切な物に飛散した塗料が付着しないよう塗装現場の養生(養生ネット張り、保護カバー、シートかけ等)は必ず行って下さい。
- 塗装用マスク、メガネ等の防護具を着用してください。飛散、揮発した塗料を吸い込むと中毒を起す危険があります。

粘度カップ換算表(付属品)



クリーンボーイ付属カップ (秒)



一般的な塗料の目安

付属カップ	18秒位
フォードカップ	20秒位
セイワカップ(粘度計)	20秒位

4-2

接続・運転

- ① 本体の電源スイッチがOFFであることを確認して、電源プラグをコンセントに差込んでください。
- ② 本体にエアースホスを接続してください。
- ③ 塗料カップを取付けたスプレーガンにエアースホスのカブラ側を接続してください。
- ④ 本体の電源スイッチを入れると、本体に内蔵されているモーターが動きます。
- ⑤ スプレーガンの引金を引くと本体のモーターの回転数が上がり、塗料がでます。引金を戻すと塗料が止り、回転数が下がります。

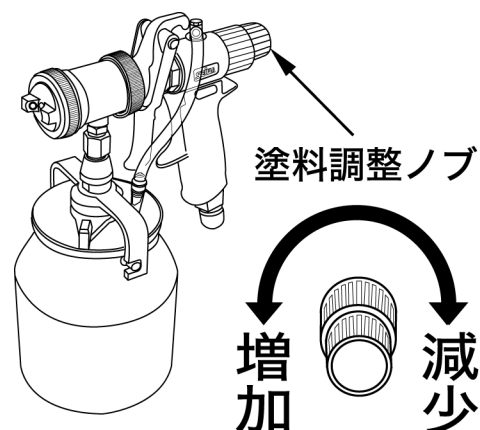
⚠注意

- 作業を始める前にテスト用の板等に試し吹きをしてください。
- スプレーガンを身体に向けて吹かないでください。

4-3

塗料噴出量の調節

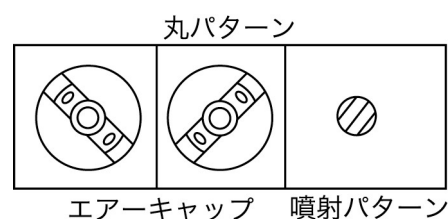
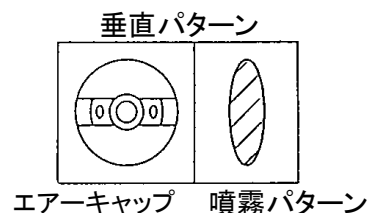
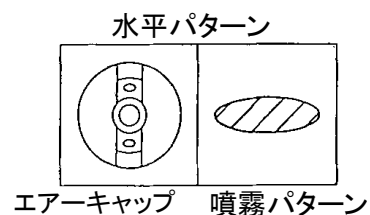
- ① スプレーガンの塗料調整ノブで調節してください。



4 作業操作手順

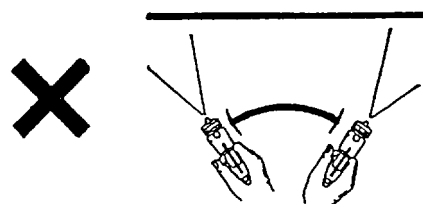
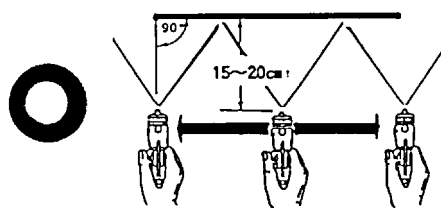
4-4 パターン 方向の変更

- ① エアーキャップの方向を図のようにしてください。



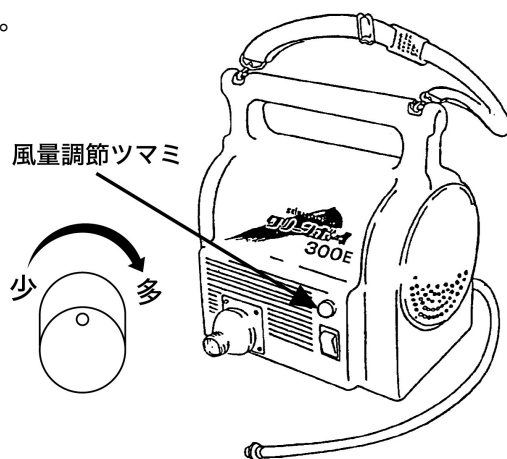
4-5 吹付 距離 について

- ① 高品質の塗装の為には、スプレーガンが被塗面に対して垂直になるようにし、15～20cmの距離で一定のスピードでスプレーガンを動かしてください。



4-6 霧化 性 について

- ① 本体の風量調節ツマミを右に廻し、風量を多くするほど、霧化性が向上します。反対にはね返りを少なくしたい時は、風量調節ツマミを左に廻し風量を少なくしてください。



4 作業操作手順

クリーンボーイシステムは高精度な部品により、故障の少ない設計になっていますが、他の塗装機器と同様に高性能を維持する為にはこまめな洗浄が必要です。

⚠注意

使用後は必ず洗浄してください。

4-7 洗浄・保守

- ①スプレーガンの加圧下カップには、スプレーガンへの塗料逆流防止の為ダックビルチェック弁が付いています。ダックビルチェック弁に塗料が付着し、乾燥すると弁が固着し、塗料が出にくくなる場合があります。その時は、ダックビルを手でもむように押して固着を解消して下さい。

ただし、特殊ゴム製のダックビルはシンナーに浸したままにしないで、軽く洗うか拭き取る程度としキズを付けない様にしてください。

- ②塗装作業終了後、残った塗料を他に移した後、スプレーガンの塗料通路をシンナーを通して洗浄します。この時、エアキャップは外してください。
- ③各部の洗浄は、シンナーを浸したブラシで行い、ウエス等で拭き取ってください。

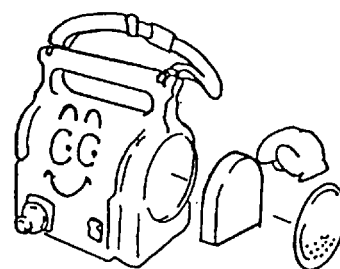
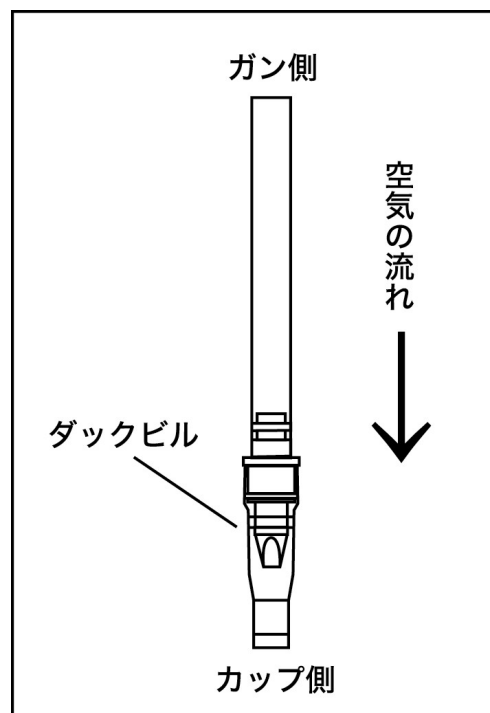
⚠注意

- ガン全体をシンナーに浸さないで下さい。
- エアキャップの穴、塗料ノズルの先端・ニードル弁先端のテーパ部及びパッキンは、絶対に傷付けないようにしてください。塗料漏れや、霧化状態が悪くなる原因になります。
- 塗料ノズルは、付属工具を使って、引金を引きながら取り外してください。
- パターン調節装置を外した時は、パターン調整ノブを左いっぱいに戻してから取付けてください。

- ④本体のフィルターを点検して洗浄又は、交換してください。

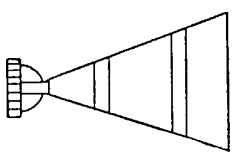
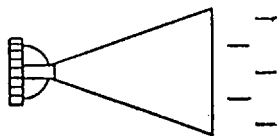
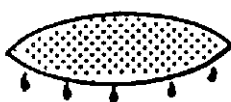
⚠注意

- フィルターの洗浄の際にはシンナーを使用しないでください。コンプレッサーのエアを吹付けるか、交換してください。



5 トラブル対策

スプレーパターンの形状不良及び故障診断表

パターン	原 因	処 置
 息切れ	●部品の取り付けが緩んでいて空気が混入している	●緩んでいる部分がないか点検してしっかりと締付けて下さい。 尚、シート部にキズがある場合は塗料ノズルを交換してください
 三日月	●エアーキャップの穴に塗料等の固形物が詰まり穴から空気の強さが異なる	●エアーキャップの穴の障害物を除去する。この際、金属類の物は使用しないこと
 かたより	●塗料ノズル及びエアーキャップ中心に固形物が付着している ●塗料ノズルの取付が悪い	●ゴミ・固形物が付着している場合は、除去してください 又キズがある場合はその部分を交換してください ●塗料ノズルを外し、シート部を清掃した上で再度取付けてください。
 中くびれ	●塗料粘度が低すぎる	●塗料原液を追加し、高めに調節してください
 中 高	●塗料粘度が高すぎる ●噴出量が少なすぎる ●風量が少ない	●希釈液を追加し粘度を低めに調整してください ●塗料噴出量を上げる ●風量をあげる
 スピット	●塗料ノズル・ニードル弁セットのシートの不良 ●エアーキャップセットの内部の汚れ	●洗浄又は塗料ノズル・ニードル弁セットの交換をして下さい ●エアーキャップセットの洗浄をする
 たれる	●噴出量が多い ●ガンスピードが遅い	●塗料噴出量調整ノブを絞る ●速くする

5 トラブル対策

故障はできるだけ早期に発見して適切な対策をとることが大切です。
次の表を参考に処置して下さい。修理不能な場合は、弊社営業所、
又は、お買い上げ販売店までご連絡ください。

5-2 故障対策

状 況	発生箇所	チェック箇所	原 因	対策			
				増 し 締 め	調 整	洗 浄	部 品 交 換
空気漏れ	エアキャップ 先端	●エア弁	●Oリングの変形、磨耗			●	●
塗料漏れ	スプレーガン先端部	●塗料ノズル ～ ニードル弁セット	●シート面のゴミ・キズ・磨耗 ●塗料調整ノブの緩めすぎ ●ニードル弁のバネのへたり		●	●	●
		●塗料ノズル ～本体	●締付け不良 ●シート面のゴミ・キズ	●		●	●
		●ニードル弁パッキンセ ット部	●パッキンセットの締め付けすぎ によるニードル弁戻り不良 ●ニードル弁への塗料固着によ るニードル弁の戻り不良		●	●	●
		●ニードル弁セット	●磨耗				●
	ニードル弁 パッキン部	●ニードル弁パッキ ンセット	●締付け不良・磨耗	●			●
		●締付けナット	●締付け不良	●			
	加圧下カップの カム下部	●パッキン(カップ 用)	●パッキンのキズ・磨耗				●
		●カップ	●カップ 上部の変形・キズ				●
塗料出ず	スプレーガン先端部 (SGL-3 型)	●チェック弁(下カッ プ仕様)	●塗料固着			●	
		●チューブ	●磨耗によるエア漏れ				●
		●カップ	●フチ部の変形・キズ				●

アルバイト君の運転開始前に必ず下記空欄に必要なことがらを
記入してください。点検の時に大変役に立ちます。

項 目	ご 記 入 欄		
型 式	MH-300	ご使用開始年月日	
製造番号		ご 購 入 先 (必須) ※必ずご記入ください	TEL ()
ご購入年月日			

アフターサービスについて

保証規定

1.保証内容

お買い上げの日から1年の間に正常な使用状態にも関わらず弊社の責任に基づき故障が発生した場合は無償修理させていただきます。

2.適用除外 ●保障期間中でも下記の場合には適用いたしません

- (1) 不当な修理や改善による故障、損傷。
- (2) お買い上げ後の落下などによる故障、損傷。
- (3) 火災、塩害、ガス外、地震、風水害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変による故障、損傷。
- (4) 使用・取扱い上の酷使、過失、手入れ不十分および外的損傷による故障、損傷。
- (5) ノズル、摺動部の磨耗およびパッキン等の消耗部品。
- (6) 注意事項および取扱説明書に記載した内容の範囲外の条件で使用した故障および損傷。
- (7) 書類に不当な字句訂正などがあった場合。

3.本書はお買い上げの納品書(納入口が記載されていることを確認)とともに大切に保管してください

ユーザー登録について

～保証対象の確認および、速やかな保証対応のために、機械購入時にユーザー登録をお願いしています～
同封の保証書に必要事項をご記入いただきFAXいただくか、弊社ホームページ経由でも受付をしています。
ホームページ経由でご登録いただきますと、ご購入いただいた商品のメンテナンス情報、関連する付属品、
便利なオプション品情報、新商品情報など、定期的に情報配信をさせていただきます。

是非、この機会にご利用くださいますようお願いいたします。

・登録場所/精和産業トップページ右側「保証書ユーザー登録」

<https://www.seiwa.com>

ここからも登録できます→



修理サービス

修理はお買い上げの販売店又は、弊社最寄りの営業所にご連絡ください。

SEIWA 精和産業株式会社

浜松配送センター

〒432-8006 静岡県浜松市中央区大久保町1348
TEL 053(485)6181 FAX 053(485)6180

仙 台	981-1105	仙台市太白区西中田6-15-13	TEL 022-241-2145
群 馬	371-0854	群馬県前橋市大渡町1-8-6	TEL 027-251-3457
東 京	136-0072	江東区大島5-12-7	TEL 03-3638-6911
神 奈 川	242-0029	大和市上草柳8-28-18	TEL 0462-63-3029
名 古 屋	453-0839	名古屋市中村区長蔵町4-15	TEL 052-412-1717
大 阪	547-0001	大阪市平野区加美北8-1-18	TEL 06-6794-3511
岡 山	710-0841	倉敷市堀南606-1	TEL 086-426-5200
福 岡	816-0912	大野城市御笠川1-8-7	TEL 092-504-7213
エス・ティール	891-0175	鹿児島市桜ヶ丘2-22-10	TEL 0992-75-7550
塗機商事	903-0124	中頭郡西原町呉屋108-6	TEL 0989-43-4495